



INFORMATION



**高3生は1/9(土)までに
貸出中の本を返却して
ください!**

※但し、小論文対策や課題提出で
必要な本は貸出可能です。
2月末に必ず返却を
約束してくれる人もOK。



図書館アンケート

ご協力ありがとうございました。

引き続きみなさんのご意見にお返事をさせて
いただきます。できるだけ全てのご意見
にお返事いたします。



●開館時間外でも返却できるポストの設置

A. 当図書館は校舎から独立しているため、ポストを設置する場合、屋外になってしまいます。台風などの悪天候時に雨が吹き込んだり、長期休暇の際の保管状態で、大切な本が破損・汚損してしまう恐れがあるため、ポストの設置は難しいことをご理解下さい。

●大学の赤本や偏差値の資料をおいてほしい。

A. 大学の赤本は、進路指導室に最新版～過去数年分あります。大学の詳しい情報に関しては、「蛭雪時代」、「蛭雪時代 臨時増刊号」が「今の特集コーナー」の裏「進路・受験コーナー」にあり、借りることができます。他にも学部に関する本も取り揃えています。

●声優関係の本や雑誌をおいてほしい。

A. 声優関連書籍は以下の所蔵があります。
『声優-声の職人-』 森川智之 [S771.7-7]
『声優魂』 大塚明夫 [S778.7-7]
『いつかすべてが君の力になる』 梶裕貴 [778.7-7]
『発声と身体のレッスン』 鴻上尚史 [771.7-7]
『奇跡のボイストレーニング』 [767.1-7]
『声優になるには』 なるには BOOK シリーズ
雑誌は『声優グランプリ』『声優アニメディア』の最新号を購入しました。雑誌コーナーをご覧ください。

●音楽史の本を置いてほしい。

A. 『クラシック作曲家大全』日東書院 [762.8-7]
は中世から1900年以降の近現代音楽までクラシック音楽の基礎知識、歴史、楽器、作曲家の生涯や作風、主要作品について詳しく言及しています。
『Chronicle Popular Music 1900→2000』は20世紀のポピュラー音楽について解説しています。音楽史に関する蔵書は少ないので、お薦めの本があれば是非教えて下さい。

●飼育員になる方法についての本を置いてほしい。

A. 飼育員関連書籍は以下の所蔵があります。
なるには BOOK シリーズからは『動物園飼育員・水族館飼育員になるには』をご紹介します。第一線で活躍する人たちの生きた仕事現場取材するほか、この世界で働くための適性や心構え、就職についても解説しています。

『動物翻訳家』片野ゆか [480.7-7] は動物たちが暮らしやすい魅力的な環境をつくるために、動物たちの行動を理解し、“心の声”に耳を傾ける飼育員たちの知られざる苦悩と奮闘を綴っています。

飼育員になる方法ではありませんが、動物の生態に関する本も多数所蔵していますので、興味があればお声掛け下さい。

●図鑑を借りたい。

A. 図書館の本は、英検・漢検の過去問とカウンター下のマンガ以外はすべて借りることが出来ます。学習まんが、歴史まんが、まんがで読破シリーズも可能です。一部**禁帯出**シールが貼ってあるものがありますが、順次修正していきますので、「これは借りれるのかな？」と迷ったら、司書にお尋ねください。尚、英検・漢検の過去問を貸し出していないのは、試験日が決まっているので、借りたい人が集中するためです。

●ゲーム・怪獣映画の解説本をおいてほしい。

A. ゲームの解説本は多数出版されており、読者層も限られるためリクエストにお応えできません。ゲームのプログラミング言語を習得したいなら『Unityの教科書』、ゲームのシナリオを作成したいなら『ゲームシナリオを書こう!』の所蔵があります。怪獣映画はどのような書籍でしょうか? 具体的な書籍名がわかればカウンターまでご相談下さい。

次号に続きます!



「国際感覚をみがく!」今月は生き方編

「こんな生き方がいい!」
「こんな活動あるんだ!」
「どうしたらこんな仕事ができるのかな?」などなど…。
国際社会で活躍する人、
団体、職業などをご紹介します。



地政学ってなんだ? まずは世界情勢から…。

『地政学 (サクッとわかるビジネス教養)』

奥山 真司/新星出版社



地政学を知ると、世界の姿が見えてくる。地政学で考える日本、アメリカ、ロシア、中国、アジア、中東、ヨーロッパの特徴を、オールカラーのイラストでわかりやすく解説。ニュースを本当に理解するには、地政学の知識が必要。防衛省の幹部候補生に地政学を教えている、地政学の第一人者奥山先生が伝授!

地政学に興味を持ったなら…

『世界史で学べ! 地政学』茂木 誠/祥伝社

『現代地政学 国際関係地図』・『世界情勢地図』

パスカル・ボニファス/ディスカヴァー21

こちらもおさえておきたい…

『地図で見る日本の外国人』石川 義孝/カニシヤ出版

『となりの難民』織田 朝日/旬報社

『外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?』

内藤 正典/集英社

えっ、帰国子女じゃないんですか?

『世界で働く人になる! 人づきあいと英語のスキルを劇的に上げる41の方法』田島 麻衣子/アルク



試験錯誤を経て英語を身に付け、世界のひととの交流に学び、やがて国連機関の職員に…。これまで7カ国に住み、60カ国以上の人たちとともに働いてきた著者が、仕事で役立つ人づきあいのコツと、英語の学び方を実践的に伝える。

またまた国連職員…。国連が身近に感じられる?

『パリの国連で夢を食う。』川内 有緒/イースト・プレス



転職先は国連。世界一のお役所と自由なパリで、“自分を生きる”を考えた…。パリと国連での5年半におよぶ体験をユーモラスに描いた、30代女性のライフストーリー。

ちょっとスケール大きすぎ?

『国境のない生き方』ヤマザキマリ/小学館新書



14歳で欧州一人旅、17歳でイタリア留学。旅した国は数知れず。ピンボーム挫折も経験し、山も谷も乗り越えて、地球のあちこちで生きてきた漫画家をつかったのは、たくさんの本と、旅と、出会った! 古今東西の名著から知られざる傑作小説に漫画まで、著者が人生を共に歩んできた本を縦糸に、半生を横糸に綴る地球サイズの生き方指南!

どこまでもパワフル!

『裸でも生きる 25歳女性起業家の号泣戦記』

山口 絵理子/講談社+a文庫



イジメ、非行、偏差値40から慶應大合格、卒業後にアジア最貧国バングラデシュで起業…。数々の失敗、挫折、裏切りに遭いながらも歩みを続け、途上国発のブランド「マザーハウス」を軌道に乗せた女性起業家とその半生を綴る。

「ここでは世界中の出来事が『友達のこ』になる」

『ここにしかない大学 APU学長日記』

出口 治明/日経BP



なにを考えてAPUを「経営」し、改革に乗り出したのか。どのような教育やキャリア形成が必要と考えるか、日本の問題点と改善案とは…。学生の半分が世界約100カ国から来た留学生の超国際派大学の、新米学長の奮闘記。

外国から日本を眺めてみると…

『アフリカ出身サコ学長、日本を語る』

ウスビ・サコ/朝日新聞出版



マリ共和国出身の京都精華大学長、ウスビ・サコ氏の自伝。幼少期、中国留学、日本人との結婚、子育て、学長就任。波乱に満ち「なんでやねん」の連続だった日々をコミカルに回顧しつつ、日本社会や教育の問題点を独自の視点で鋭く批判する。

「国際感覚ってなんだろう?」色々な意味にとれるこの言葉について考えていたら、どんどん本を紹介したくなりました。今の特集コーナーに足を運んでみて下さい。あなたの心に響く本がきっとみつかる?!

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。